

奈良公園の水環境を改善します！

奈良公園内の猿沢池や鷺池は、多くの来訪者が訪れる場所ですが、流域が狭く流入水量が少ないため、これまでも、水質悪化により主に夏場において濁り、浮遊物、アオコや臭いが発生しています。

このため、奈良公園内のアメニティのさらなる向上策として、猿沢池や鷺池の抜本的な水環境の改善に取り組むこととしました。

＜猿沢池の対策＞

- 国立博物館修景池からの導水により流入水量の増加を図り、水質を改善します
 - ・ 仮設ポンプによる導水の実証実験を行い、導水量に応じた水質の改善状況について検証（令和4年9月中旬～11月中旬）
 - ・ 水路の新設（令和4年度 工事完了、令和5年春 本格導水開始予定）

＜鷺池の対策＞

- 上流にある鹿苑からの汚濁物質の流出を抑制し、水質を改善します
 - ・ 鹿苑の浄化施設の整備（令和4年度 設計、令和5年度 工事完了予定）
- 池干しと同時に池底に堆積している汚濁物質を除去し、水質を改善します
 - ・ 池干しおよび浚渫（令和4～5年度 工事予定）
 - ・ 流入口の沈砂池土砂撤去（令和4年度 工事完了）
- 鷺池上流域で流入水量の増加を図り、水質を改善します
 - ・ 井戸の新設（令和4～5年度 調査設計、令和6年度 工事予定）
 - ・ 吉城川からの分水量増加（令和4～5年度 調査設計、令和6年度 工事予定）

今後とも、対策を行いながら効果検証を行い、必要に応じて追加対策を検討します。